

### 編輯室內外

二月四日衆議院豫算總會に於て東條首相がなされたる答辯のうち國民をひきうるには戒嚴令の如き強權の行爲を執らず、二千有餘年來皇室を中心とする國民の忠勇赤誠の魂をゆすぶつて此の難局に善處すること、が日本獨特の政策であると確信し之を實行し來つたものである。又言ふ獨裁權といふことは歐洲中部に於てとなへらるる。例へばヒットラーとかムッソリニーとかスターリンとかチャーチルとかルウズベルトとかが採用する獨裁といふものは我國では絶対に認められぬ。私は内閣總理大臣といふ要職にあるので、天皇陛下の御光を受け、忠實に其の職に盡すのみである。歐洲あたりの獨裁權と私の今申す處の我國の事とは絶対に相異なるものであると東條首相の此の言明は實に國民の言はんとする處を能く首相が辯明し盡したといふべきもので實に其の言明には敬服もし心服もし感謝もする。

○ 部下官吏非違の行爲に關して當該大臣は如何なる責任を執るかと云ふに當該大臣は勿論其の善後策に付ては最善の責任を盡くすべきは勿論であるが特に今日決戦下に於ては大臣は戰爭先途といふ輔弼の責任を盡さねばならぬものであると東條首相は大膽

に卒直に其の懷抱する處の所信を披瀝せられた、此の誠意ある答辯は敬服の外はない。

○ スターリングラード二十萬の獨軍は無接の爲食盡き彈藥盡き果てた後も彈藥に代ふるに石を以て、石に代ふるに我と我身を以て遂に肉彈を赤軍に叩き付けた、「我等は市内最高の建物にハーケンクロイツの旗を掲げたりヒットラー總統に榮あれ」との通信にて事は終へた。高邁な敢闘精神を發揮したとはいへ、慘又慘、噫。

○ 食糧、衣料、木炭、石鹼、醬油、砂糖等如き生活必需品は素より其の豊富なるを求めざるも生活上缺くべからざる程度のものは之を配給し而かも其の配給は適正なる方法と時期とを願はざるを得ない。然らざれば開取引は到底根絶するのときあらざるべきを思はせらるる。彼の親心とか親切心とかは自ら濫用すべきものではない。政府當局は其の盡すべき所を十分に盡し、國民亦其の爲すべき所を十二分に爲し遂ぐるに於て一億一心、舉國一致と云ふべきことなるのである。

○ 今議會に於ける東條首相の答辯は直裁且明快にして聞者をして克く了解認識せしめる特に大學院令等に關するもの如き橋田文相を遠慮せしめ親ら陣頭に立ち官私立の

區別なく設置せしむる旨を答辯せられた。快刀亂麻を斷つる概あらしめたる處快又快。

○ 四百有餘億圓の歳出豫算額と二百七十億圓の貯蓄額とは濱口雄幸氏が總理大臣たりしとき、高橋是清氏が大藏大臣たりしときと比較すれば驚くべき巨額となつた、が之は當然の事である。大東亞戰の戰爭、大東亞共榮圏の建設といふ未曾有の責任を有する我國である。其の難きを擔ひ其の不可能を可能ならしむるは我國民の重責であり又光榮である。努めずして可ならんやである。(二、一八、洗)

(停) 定價一部 五十錢  
一ケ年分 六圓

發行所 東京市麴町區霞關一丁目内務省內  
社團 法人 道路改良會  
電話銀座(57)〇四二七  
振替口座番號東京二〇二六

發行所 東京市赤坂區水川町一七番  
編輯者 平井良成  
東京市小石川區諏訪町五六  
印刷所(東京二〇二)株式會社常磐印刷所  
印刷者 奈良直一

日本出版文化協會會員會號二〇〇四一五